

九州圏広域地方計画に係る 市町村からの計画提案について

令和8年4月28日

市町村からの計画提案の概要について

令和7年10月24日から11月25日の間で計画提案を募集し、2市町（1市、1町）から計4の計画提案が提出された。

【提出市町】

佐賀県：太良町、 大分県：日田市

内訳	件数
道路、港湾、空港に関する表現の追加等	1
定住環境に関する表現の追加等	2
観光に関する表現の追加等	1

九州圏広域地方計画に係る市町村からの計画提案への対応について

都府県名	市町村名	提案番号	提案内容 (計画に記載すべき文章案)	中間とりまとめ(案)		提案理由	九州圏広域地方計画計画原案 (該当箇所)等
				ページ No.	関連箇所		
佐賀県	太良町	1	有明海沿岸道路の早期整備による広域交通ネットワーク強化	25	<p>「【PJ2】ひとつにまとまり活力を創出する交流・連携プロジェクト」第1節「循環型連携の強化によるシームレスな九州圏の構築」</p>	<p>有明海沿岸地域は、九州北部を中心として福岡県、佐賀県、熊本県、長崎県にまたがる豊かな自然や歴史的資源を有する一方で、既存の高規格道路ネットワークは未だ分断されている部分が多い。有明海沿岸道路の早期延伸整備を行うことにより、以下の課題解決が期待される。</p> <p>観光活性化: 本地域は、「明治日本の産業革命遺産」や「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」などの世界遺産、有明海のラムサール条約湿地登録地、島原半島のユネスコ世界ジオパークなど、国内外からの観光客を引き付ける多様な観光資源を有している。有明海沿岸道路の整備により観光ルートの利便性が向上し、周遊観光の活性化が期待される。さらに、定住促進や地域の誇りと愛着の醸成が図られる。</p> <p>物流の効率化: 沿岸道路による物流ネットワークの拡充は、熊本港、三池港、九州佐賀国際空港などの基幹拠点を結び、企業誘致や産業振興の促進に寄与する。高規格道路による物流効率化は、地域経済の発展を後押しし、九州圏全体の持続可能性を支える基盤として機能することが期待される。</p> <p>災害対応の強化: 近年頻発する自然災害への備えとして、高規格道路の整備は、避難路や支援物資輸送の基盤となり、地域の防災力向上に寄与する。また、地域住民の安全・安心が確保されることにより、長期的な地域活性化に繋がる。</p> <p>この提案は、陸海空の総合交通ネットワークの機能強化による「シームレスな拠点連結型国土」の形成を目指す第三次国土形成計画(全国計画)の方針に完全に合致しており、県境を越える広域的な地域連携や交流を実現するための鍵となる施策である。</p>	提案の内容は個別事業であるため、計画原案第4部第2章第1節1.で、「有明海沿岸道路～の高規格道路の整備を推進する」と趣旨を反映。
大分県	日田市	1	「高次医療体制の充実」をスマートウェルネスシティの観点の取組の一つとして追加すること	40	<p>「中核中核都市を核とした魅力あるまちづくり推進プロジェクト」の「共助共生の社会を実現する幸せコミュニティの形成」に関する事項</p>	<p>九州は離島・半島、中山間地域を多く有する圏域であり、居住する地域によっては住民は救急医療の提供を受けることが困難な場合がある。現状においても県域を超えた高次医療は提供されているものの、医療体制の充実を図ることで、中山間地域等で健康で元気に幸せに暮らす住民の増加が期待される。</p>	中間とりまとめ(案)【PJ5】離島・半島・中山間地域・都市をつなぐ地域生活圏形成プロジェクトの「2.離島・半島の地域資源を活かした自立的発展」施策において、「不足する医療人材や教育人材の確保に努めるとともに、新たな技術の活用によるスマートアイランドの取組等により、ドクターヘリの運行やドローンによる医療品等の配送、ローカル5Gを活用した遠隔医療、～(後略)～」と記載し、医療体制の充実について記載している。
大分県	日田市	2	「アニメツーリズム」を欧米豪に選ばれるためのツーリズムの取組の一つとして追加すること	32	<p>「強みや特色を活かした持続可能な産業振興プロジェクト」の「誘客と観光消費額の拡大を重視したインバウンドの推進」に関する事項</p>	<p>日本の漫画やアニメは世界的にも人気を有しているコンテンツであり、九州内には聖地と呼ばれる場所が複数の県に存在している。それぞれの自治体で取組を進めているものの、アニメツーリズムの推進を連携して取り組むことにより、欧米豪からの旅行者の更なる増加が期待される。</p>	提案の趣旨を踏まえ、計画原案第4部第3章第5節2.に「アニメの聖地」を新たに記載する。
大分県	日田市	3	「アンコンシャス・バイアス(無意識の思い込み)の解消」「ハラスメント対策の推進」を女性の他圏域への人口流出傾向に歯止めをかけるための女性活躍の場づくりや働き方の選択肢を増やすための取組の一つとして追加すること	41	<p>「中核中核都市を核とした魅力あるまちづくり推進プロジェクト」の「女性活躍の推進」に関する事項</p>	<p>九州では多くの地域において東京圏など他圏域への女性の流出が続いている。政府も地方創生2.0の中で流出要因の一つとして、アンコンシャス・バイアスに対し有効にアプローチできなかったことを挙げており、地域社会のアンコンシャス・バイアス等の意識改革や魅力ある職場づくりにより、九州が女性に選ばれる地域になることが期待される。</p>	提案の内容は個別事業となるため、計画原案第4部第4章第3節3.において、ハラスメント対策の根本的なベースである「ジェンダー主流化」について趣旨を反映。また、同じく計画原案において、「アンコンシャス・バイアスの解消」について趣旨を反映。